

2023年度 JLS 通信 秋号

年に4回、JLS の取り組みや障害者雇用に関する情報についての記事をお届けしています！

【中・西・安佐南・安佐北・佐伯区エリア】
社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会 (4名配置)
広島市西区打越町 17-27
TEL (082)537-1088 FAX (082)537-1090

【東・南・安芸区エリア】
社会福祉法人 つつじ (2名配置)
広島市東区若草町 15-20
TEL (082)262-5100 FAX (082)262-5102

1. 企業紹介「間口ウエストロジ株式会社」

皆さんは、かわいいカエルのイラストが描かれたトラックを目にしたことがあるでしょうか？このカエルは、昨年度体験実習受入協力企業にご登録いただいた「間口ウエストロジ株式会社」様のマスコット「まぐびょん」です。今回は、間口ウエストロジ株式会社がどのような会社なのか、管理部のH氏にお話を伺ってみました。



—間口ウエストロジ株式会社さんは、どのようなお仕事をされているのですか？

H氏 総合物流会社である間口グループの関連会社になります。間口グループは大阪港を基盤に港湾運送の専門家として創業した100年以上続く老舗で、現在は港湾運送に限らず、多角的に業務を拡大しています。

—その中で、間口ウエストロジ株式会社は、流通業における物流加工・食品加工・物流センターオペレーションの受託・運営や、各ご家庭への食材宅配サービスの業務などを担っています。

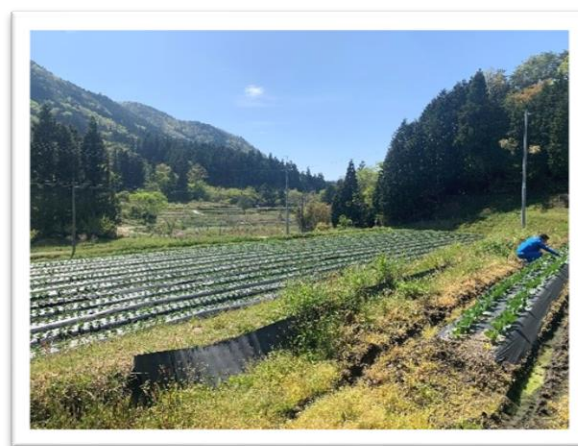


—広島県では、事業として農業も展開されていると聞きました。

H氏 はい、19.7haの農地で、キャベツや青ネギの生産を行っています。農家の方の高齢化、農業人口の減少が進む中で、農業の様々な可能性にチャレンジできればと考えています。

—体験実習についてご協力いただけるとのことですが、障害者雇用についてどのような思いがおありでしょうか？

H氏 弊社はグループパーパス（企業の社会的意義）である「幸せを追求し続ける企業」の定義に沿って、地域に根差し、役に立つ企業として、雇用促進やダイバーシティの取り組みも積極的に行っています。障害者、外国人、高齢者の社内構成比率は21%で、今後も拡大する見通しです。



—地域の障害者の方の社会進出に向け、物流センターでの業務だけでなく、農地運営を活かして、農福連携・地域就労を進め、個人の能力や可能性を發揮できる業務を見出し、皆さんが活躍できる職場提供を進めることができると考えています。

—各事業所の支援員の方や、一般就労を目指す当事者の方たちにメッセージをお願いします。

H氏 見学や体験実習の受入れについては、JLSの方を通して随時ご相談に乗ります。農業に興味がある方がいれば、ぜひ広大なキャベツ畑を見学に来てもらえればと思っています。

間口ウエストロジ（株）の農業の取り組みについて紹介した動画をご案内します。横のQRコードから、ぜひご覧になってみてください！



2. 企業で就労中の方へのインタビュー

2022年度のJLS通信春号に、安佐動物公園にて臨時職員として働かれていたOさんのインタビュー記事を掲載しました。Oさんは、今年3月に安佐動物公園の雇用期間が満了した後、4月からは株式会社キリンビバックスに就職しました。今回、近況や仕事に対する思いをあらためてお話していただきました。

—キリンビバックスでは、どんなお仕事をされていますか？

Oさん 商品の飲料水のピッキング作業が中心です。あとは、取引先への配送業務にも一緒に行かせてもらっています。

—この仕事を始めて、一番大変だと感じたのはどのようなときでしたか？

Oさん そうですね、取引先の建物の2階まで、飲料水24本入りの荷物を階段で持って上がらなくてはいけなくて……。30ケースはあって、そのときは大変でした。

—体力がいらいますね。逆に仕事をしていてよかったなど感じるのはどんなときですか？

Oさん 職場の皆さんが、すごく丁寧に指導をしてくれます。飲み物もすぐ買えるし。普通の自販機より値段も安いんですよ。以前、ビールの試飲缶をもらって帰ったりしました。自分はお酒が飲めないので、家族へのお土産にしました。

—就職活動中に一番気にされていたのが、困ったときにすぐ相談できる環境かどうか、ということでしたが、今の職場はその点はどうですか？

Oさん すごくいい環境です。逆に周りの皆さんの方から「大丈夫か？」と声をかけてくださって。

—前職の動物公園での経験が活かされているなど感じることはありますか？

Oさん (動物公園も体力仕事だったので) 結構しんどい作業でも体力的には余裕があるなと思います。暑さへの耐性もついたし。あとは、急に他の仕事が入っても対応できるようになりました。

—いいステップアップができていますね。入職当初は6時間勤務だったのが、仕事ぶりが認められて8時間に延長されたと聞きました。フォークリフトの免許も取らせてもらおうそうですね。

Oさん はい、希望を伝えたら、会社が許可していただきました。勤務時間が長くなったので、もらえるお給料が増えたのも嬉しいです。



—いい環境で働かれているのが伝わってきます。

Oさん この前は、職場の方に焼肉に連れて行ってもらいました。『職場の飲み会』というものが初めての経験で、嬉しかったです。

—以前のインタビューで、働く上で大切だと思うことは？と質問したら、報連相の重要性和作業の基本を押さえること、継続して取り組むことの3つを挙げられていました。今、同じ質問をしたら、この3つに、何か変更や付け加えはありますか？

Oさん 前の意見とそれほど変わってはいないんですけど、やっぱり挨拶は大切だなと思いますね。仕事はみんなやれるものなので、そういう基本的なコミュニケーションは大切だなと思います。

—最後に、将来の夢や目標は何かありますか？

Oさん 自分のことは、すぐには思いつかないんですけど……。お金を貯めたら、親を旅行に連れて行ってあげたいなと思っています。

職場の上司I氏からのコメント

真面目によくやってくれて、本当に助かっています。頑張りすぎじゃないかと心配になるくらいです。何か困ったことがないか気にかけてはいますが、Oさんを特に『障害者』だと思って接してはいません。Oさんと一緒に働く中で、同じように体力に自信があってこういった仕事に興味がある人がいるなら、今後も雇用の枠を広げていきたいという思いにもなりました。

あとがき

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。その他、JLSの取り組みとしては、去る8月25日(金)に、今年度第2回の『在職者交流会』を開催いたしました。19名のご参加をいただき、楽しい時間を過ごすことができました。第3回は11月18日(土)を予定しております。

JLS通信では、今後も皆さまの就職活動の参考になるレポートをお届けできればと思います！